

ほけんだより

たがみだい保育園
R4.6.21発行

雨の合間に差し込む日差しや暖かさに、初夏の訪れを感じるこの頃。室内や戸外に関係なく、日々いろいろな遊びを元気いっぱい楽しんでいる子どもたちも、汗をかく季節になってきました。園でも体拭きや湯浴びなどを通して、子どもたちが清潔に快適に過ごせるように取り組んでまいります。

「ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群」

という病気を知っていますか？



これから汗をかく季節。それに伴い多くなってくのが、汗疹や虫刺されからなる「とびひ」です。『ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群』とは、とびひの原因となる黄色ブドウ球菌が産生する毒素によって、表皮が侵され、火傷のように皮膚が剥けてしまう皮膚疾患です。発症すると、微熱から38℃前後の発熱、顔や身体の柔らかい部分（脇や膝の後ろなど）に赤みや腫れ、痛みなどが現れられます。症状の重いや熱が続くような時には入院が必要とされることもあります。

汗疹や虫刺されがとびひになる前に、早目の病院受診と処置を心掛けましょう。

<症状例>



～こんなことに気をつけましょう！～

☆爪が伸びていると、皮膚をかいた時に、爪についているバイ菌が原因で炎症を起こしやすくなります。こまめに爪のチェックを心がけ、毎週月曜日には爪を切って登園する習慣をつけましょう！

☆赤ちゃんや肌が弱い子は皮膚が薄いので、なるべく泡状のもので体を洗うようにしましょう。



もしかして、それ食物アレルギーかも??

便がゆるいのが中々治らない・・・、顔の周りによく湿疹が出ていて治りにくい・・・なんてことがあるお子さまはいますか？

最近、当園児で、ある食材を除去したら、便の状態が良くなったり、肌の湿疹がひいてきたりした事例がありました。ちょうど感染性胃腸炎も出ている時期で、見分けが付きにくく、保護者にも連絡を何度も入れてしまい、私たちも「どうしたもんだろう・・・」と考えていました。そんなある日、給食に鶏肉が入っている時に便が緩くなりやすいということがわかり、保護者とも話し、家庭でも園でも鶏肉を除去することになりました。除去を始めてから、便が緩くなることも減り、また目元や口周りに出ていた湿疹も少しずつ綺麗になりました。アレルギー小児科で検査をした結果、**鶏肉が通常よりも少し数値が高かった**のですが、これからいろんな食べ物に慣れていかなければならない年齢なので、まずはご家庭の方で園児の体調を見ながら少しずつ食べさせていき、園でも提供をするかどうかを、今後連携を取りながら進めていくこととなりました。

下痢や湿疹などは、原因が一つではないので、もし、お子さまの体調で気になる点などありましたら、気軽に担任や近くの職員にご相談ください！



マスク着用について

厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部から、子どもたちのマスク着用について、お知らせがありました。

これまで、可能な範囲で3歳以上児にはマスク着用を奨めてきましたが、個々の発達状況や体調等を踏まえる必要があることから、マスク着用を一律に求めないこととなりました。

つきましては、マスク着用に関しては各ご家庭で着用の判断をしていただきますよう、よろしくお願いいたします。